

日の出山北尾根山行報告書

(山域) 奥多摩 日の出山

(日時) 1月21日(日曜日)

(コース) 御嶽駅～登山口～日の出山～高峰山～分岐～つるつる温泉

(参加者) CL:内堀(記録)・澤田(路)・宮城

(山行タイム)

御嶽駅 9:00～登山口 9:25～日の出山 11:15/11:50～高峰山 12:25～つるつる温泉分岐 13:00～
つるつる温泉 13:50

(山行報告)

今回は全員リハビリ山行になります。私はヘルニアと圧迫骨折、澤田さんは胸椎圧迫骨折、宮城さんは膝を悪くしてのリハビリです。高齢になると弱くなるものです。皆様も気を付けましょう。船橋駅5:40発の最後列に乗ると澤田さんが乗っておられた。宮城さんは乗っていない。おかしいな。と思い、電話を掛けるが出ない。錦糸町を過ぎ再度電話すると、あらま電話に出てくる。寝ぼけた声、今起きたとの事。時間が早いので今から出るように指示する。我々も御茶ノ水で乗り換え新宿に向かう。途中連絡があり、新宿駅着7:07頃予定。新宿駅南口改札を出てバスタ新宿を横目に、マックに入り時間を潰す。やれやれ、私も1回、澤田さんも1回やっているの、人の事は言えないなと思う。新宿駅で待ち合わせして、中央線快速・立川駅より奥多摩駅に向かう電車に乗り、8:48に御嶽駅に到着する。改札を出て出発準備を整える。ここから、御岳大橋を渡り信号を右に進み、御岳神社の大鳥居を潜ると小さな橋を渡ると、左側に苔のついた階段がある。ここが、日の出山北尾根の入り口である。気合を入れ、ゆっくり登る。道は薄いが判りやすい。11月中旬も登っているので、道迷いの心配はない。1時間弱の地点で少し平らで開けた場所で休憩をする。風もなく空は青い。気持ちの良いハイキング日和である。休憩後は更に登り続けると、日の出山の柵が見えてきた。一気に登り柵の脇から入る。山頂にいた人達は不思議そうに何処から来たのか？

山頂は何時来ても相変わらず賑わっている。常時30人近い方々が休憩している。我々も少し時間が早いけど昼食タイムとする。新宿方面を見ると残念ながら本日は、副都心のビル群とスカイツリーは見えない。少し霞が掛かっているようである。昼食後は高峰方面を歩く、基本は下りであるが高峰山で少し登り、この前来た高峰山北尾根分岐を過ぎ、三室山方面に進む。巨大鉄塔を過ぎると林道を右手に見ながら登山道を進むと、尾根道が出てくる。多分ここが、つるつる温泉に向かう道であると、携帯GPSを確認すると間違いない。三室山は景色が無いので止める。尾根道を過ぎると林道に当たり横切り尾根道を更に進む。最後は沢筋を歩くので不明瞭な道を進むと、道路が現れ、つるつる温泉に向かう道を判る。やれやれ到着しました。最後は判り難いが何とか到着できた。つるつる温泉に入りサッパリする。バスで武蔵五日市駅に向かい、ホリデー快速1号に乗り岐路に向かう。電車の中では宮城さんと私で酒盛りを続ける。澤田さんはピロリ菌除菌中のため、飲めず二人での酒盛りとなった。何時の間にか新宿駅に、御茶ノ水駅で降りて各駅停車に乗り、私一人快速電車で帰ろうと思った所、成田エクスプレス上り電車がホームを通過時に鈍い音がしておかしいと思った矢先、JR職員が来て人身事故との情報あり、これから約1時間動かず、各駅停車で向かっていればこんなことにならず、最後の最後に来て、ついていないことを実感する。

終わり良ければ全て良しもあるが、今回は最後に来て悪い一日を体験することになった。

ハイキングは無事終了して、リハビリ山行としてはまずまずであった事は間違いなさそうである。年と共に体力を維持することは大変であり、一度落ちてしまうと中々回復するのが難しいと実感した。常日頃の鍛錬が必要と思いました。





以上